

札幌の森づくりに協力し植樹

成長願いい苗木500本

宮坂建設工業札幌支店―地域環境に貢献

宮坂建設工業(株)(帯広、宮坂寿文社長)の札幌支店(佐々木勝幸支店長)は九月二十九日、札幌市手稲区の山口緑地で植樹活動を行い、すくすく育つよう願いながら五百本の苗木を植えた。

「環境保全に貢献したい」と昨年、札幌市と締結した「森づくりに関する協定」に基づき植樹会で、昨年に続き二回目の活動となる。

好天の当日は、役員、OBをはじめ、技術指導を行うNPO法人「新山川草木を育てる集い」のメンバーら約三十人が参加。植える際の深さや肥料の配分などについて気を配りながら、丁寧に作業を進めた。

写真1。

この日植えたのは、アキグミ、ドロノキ、カシワ、



ミズナラ、ヤチタモ、イヌエンジュ、ヒロハノキハダ、トドマツ、チシマザクラ、ナナカマドの十種類の樹木。五百本の苗木に、順

調に育つよう願いを込めた。同支店は、ごみ埋め立て地である山口緑地七千平方メートルに、平成三十年まで八年間かけて苗木三千五百本を植え、下草刈りなど育樹管理を行う計画。創業九十周年を迎える宮坂建設工業は、社訓にある「世のため人の為に尽くせ」を基本に、地域の環境問題にさら

に貢献していく、としている。

北海道建設新聞

2012年(平成24年)10月3日(水曜日)

アキグミなど山口緑地に植樹

宮坂建設工業札幌支店

宮坂建設工業札幌支店(北区)は9月29日、手稲区の山口緑地にアキグミやドロノキなどの苗木を植樹した写真。

昨年札幌市と締結した「森づくりに関する協定」に基づき二回目の活動となる。

当日は「NPO法人新山川草木を育てる集い」の技術指導の下、佐々木



樹と下草刈りの維持活動を続けることになっている。

同社は地域の環境問題について、今後さらに貢献していく考えだ。

勝幸支店長やOBら総勢30人が参加。10種類、500本の苗木を植えた。協定では2018年までの8年間にわたり、植